

# 平成 27 年度 附属図書館活動報告書

東京大学附属図書館

## 目次

<b>1. 平成 27 年度の特記事項</b>	<b>1</b>
1.1 新図書館計画の推進	1
1.2 ハーバード大学図書館との訪問利用に関する協定発効	3
1.3 障害者集中雇用プロジェクトチームとの連携	3
1.4 総合的教育改革への対応（駒場図書館）	4
1.5 狩野亨吉生誕 150 周年記念展の開催（駒場図書館）	4
1.6 台湾漢学資料センター（TRCCS）コーナーの運用開始（駒場図書館）	4
1.7 地図アーカイブ事業の推進（柏図書館）	4
<b>2. 研究成果の発信、資料の電子化</b>	<b>5</b>
2.1 機関リポジトリ	5
2.2 所蔵資料の電子化	5
2.3 教育用掛図の修復及び電子化事業（駒場図書館）	5
2.4 平賀謙総長関係資料の受け入れとデジタル化（柏図書館）	5
<b>3. 利用者サービス、ガイダンス、広報</b>	<b>6</b>
3.1 MyOPAC による文献取寄せ申込	6
3.2 祝日授業実施への対応	6
3.3 アジア経済研究所図書館との連携事業（駒場図書館）	6
3.4 駒場図書館キャラクター「こまとちゃん」を活用した広報（駒場図書館）	7
3.5 館内サービス環境の改善（柏図書館）	7
3.6 図書館ガイダンス、講習会等	7
3.7 オープンキャンパス 2015、柏キャンパス一般公開	9
3.8 展示会、講演会、コンサート、映画上映会など	10
<b>4. 資料の収集</b>	<b>13</b>
4.1 学習用図書 of 整備	13

4.2	全学資料購入集中処理システムの着実な運用	13
4.3	全学共通経費による基盤的学術雑誌等の整備	13
4.4	大型コレクション	13
<b>5.</b>	<b>資料の管理</b>	<b>14</b>
5.1	目録データの遡及入力事業	14
5.2	自動化書庫への雑誌移管（柏図書館）	14
5.3	開架図書の変動	15
5.4	図書資産の実査	15
5.5	総合図書館改修に伴う資料の移転と運用	15
<b>6.</b>	<b>業務管理</b>	<b>16</b>
6.1	職員研修	16
6.2	友の会（柏図書館）	16
6.3	インターンシップ	16
6.4	高校生「奉仕体験学習」の受入（柏図書館）	17
6.5	地域連携（柏図書館）	17
6.6	学内他部署との連携	17
6.7	規則改正	17
<b>7.</b>	<b>年間活動表</b>	<b>18</b>
7.1	平成 27 年度図書館活動日誌	18
7.2	平成 27 年度附属図書館会議開催一覧	20
<b>全図書館室統計</b>		
<b>1.</b>	<b>職員数、蔵書数、利用統計</b>	<b>22</b>
<b>2.</b>	<b>経年変化</b>	<b>23</b>
2.1	蔵書数	23
2.2	所蔵雑誌種類数	23

2.3 資料費総額	23
2.4 入館者数（延人数）	24
2.5 館外貸出冊数	24
2.6 東京大学 OPAC 利用統計	24
2.7 附属図書館ホームページ利用統計	24
2.8 電子ジャーナルダウンロード数	25

# 1. 平成 27 年度の特記事項

## 1.1 新図書館計画の推進

### (1) 新図書館計画の着実な進展

平成 23 年度に全学事業化された後、各種の部会を設けて新図書館計画を推進するための検討を行っており、平成 27 年度も計画実施のための各種取り組みを着実に進めた。

建物計画については、平成 27 年 4 月から総合図書館（新館）のニューマチック・ケーソン工法による地下工事が本格化した。総合図書館（本館）の耐震改修工事Ⅱ期も始まった。

新図書館計画の広報として、新図書館トークイベント、文学インタビューなどのイベントが開催され、多くの参加者から好評を得た。

総合図書館（新館）地下 1 階に新設予定の「ライブラリープラザ」や改修後の本館で展開すべき新しいサービスを試行するためのモデルルームとして、総合図書館 1 階に開設された「ミニレクチャールーム」がオープンし、各種イベントが行われた。

### (2) 広報活動

新図書館計画を学内外に広報し、イベントを通じて参加者に現在の図書館と新図書館計画への理解を深めてもらうことを目的としたトークイベントや企画展示等を、平成 27 年度も継続して実施した。

#### トークイベント

(開催場所： 総合図書館 1 階 洋雑誌閲覧室)

期間	内容	参加者数
5 月 28 日	文学インタヴュー第 2 回 古井由吉 (〈現代作家アーカイブ〉by 飯田橋文学会)【新図書館トークイベント EXTRA】公開収録	106 名
6 月 25 日	新図書館トークイベント 13「石川正俊講演会 Library Meets Robots—最先端テクノロジーが開く知の未来—」	84 名
10 月 17 日	新図書館トークイベント 14「林和弘、有田正規講演会 オープンな知がイノベーションを生む -オープンサイエンスの潮流と図書館の可能性-」	93 名
11 月 3 日	新図書館トークイベント 15 講演会「21 世紀の図書館の指針-ドイツにおけるグリーンライブラリー、ハイブリッドライブラリーの実践-」	76 名
12 月 20 日	文学インタヴュー第 4 回 谷川俊太郎 (〈現代作家アーカイブ〉by 飯田橋文学会) 【東京大学新図書館トークイベント EXTRA】公開収録	103 名
平成 28 年 1 月 25 日	第 1 回人文情報学拠点シンポジウム/東大新図書館トークイベント 16/ 日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画共催事業 「HathiTrust とデジタルアーカイブの未来」	150 名
3 月 18 日	新図書館トークイベント 17 「東京大学南原繁記念出版賞表彰式・第 4 回受賞者講演会」	31 名

	講演:小林延人「日本経済史研究の一方法-『明治維新期の貨幣経済』に即して」	
--	---------------------------------------	--

## 関連イベント

期間	内容	参加者数
平成 27 年 4 月 25 日	「図書館再生——なぜ図書館は生まれ変わるのか」 (印刷博物館・ヴァチカン教皇庁図書館展 II「書物がひろくルネサンス」オープニング講演・シンポジウム)	不明
9 月 9 日	これからの東大図書館で何したい?-ミニレクチャールームオープニングイベント (開催場所: ミニレクチャールーム )	19 名
11 月 6 日	ワークショップ「図書館のミライ in Berlin & Tokyo - 変革する時代における日独図書館の取り組み-」	23 名
平成 28 年 3 月 11 日	「図書館で体を動かそう!~石井直方先生が教える、疲れにくく元気な体をつくる「スロトレ」エクササイズ~」	15 名

## その他

期間	内容
平成 27 年 11 月 10 ~ 12 日	第 17 回図書館総合展(主催:図書館総合展運営委員会)ポスターセッション参加 最優秀賞受賞 (開催場所: パシフィコ横浜 展示ホール D)

### (3) ミニレクチャプログラム

図書館における教育のあり方を考え、図書館で学際的なテーマにふれる機会を設けることを目的に、新図書館計画 ACS (アカデミックコモンズサポーター) により「ミニレクチャプログラム」が企画、実施された。「東京大学フューチャーファカルティプログラム(FFP)」の協力を得て、FFP を修了した大学院生が講師となり、アクティブラーニングを取り入れた模擬授業を行うものである。学生と職員との共働、図書館と学内他部署 (大学総合教育研究センター) との共働が生まれ、図書館が学内に開かれた組織となるための活動として、継続的な実施を予定している。

期間	内容	参加者数
平成 27 年 6 月 26 日	ミニレクチャ「地域をつなぐコミュニティ・ビジネス~図書館と地域をつなぐ新たなカタチ~」:講師 松本久仁子さん (東京大学大学院工学系研究科 技術経営戦略学専攻) (開催場所: 総合図書館 1 階 ミニレクチャールーム)	23 名
9 月 25 日	ミニレクチャ 1「文学研究ってどうやるの?—ナボコフ『賜物』の読み方をめぐって—」:講師 豊田宏 (東京大学大学院人文社会系研究科 欧米系文化研究専攻)	19 名

	ミニレクチャ 2「エピジェネティクスって知ってる? —生命科学のホットな話題—」:講師 吉田壘 (東京大学大学総合教育研究センター 特任研究員) (開催場所: 駒場図書館)	
12月4日	ミニレクチャ 1「健康政策を支える科学 -疫学研究とその活用-」:講師 田中宏和 (医学系研究科社会医学専攻) ミニレクチャ 2「今日からはじめるマインドフルネス瞑想—知る、体験する、少しわかる」:講師 松下弓月 (教育学研究科臨床心理学専攻) (開催場所: 総合図書館 1 階 ミニレクチャールーム)	20名
平成 28 年 2月12日	ミニレクチャ 1「文化外交政策をデザインしてみよう -文化外交先進国フランスの事例に学ぶ-」:講師 学谷亮(総合文化研究科地域文化研究専攻) ミニレクチャ 2「『空気を読む』の『空気』って何? -面目行為と方針-」:講師 大西未希(学際情報学府学際情報学専攻) (開催場所: 柏図書館 1 階 コンファレンスルーム)	22名

## 1.2 ハーバード大学図書館との訪問利用に関する協定発効

東京大学附属図書館とハーバード大学図書館との間における図書館訪問利用に関する協定書が 10 月に発効した。双方の大学の教員（常勤）、学部学生、大学院学生は、所属大学の身分証明書（職員証・学生証）の提示により、協定書別紙に掲げる図書館（本学、ハーバード大学いずれも 27 館）の訪問利用が可能になる。施設利用、閲覧、レファレンスは無償、複写は有償である。

## 1.3 障害者集中雇用プロジェクトチームとの連携

総合図書館では、平成 27 年度から、障害者集中雇用プロジェクトチーム（施設部施設企画課）の協力のもと、定期的な館内清掃等の作業を開始した。プロジェクトチームの建物清掃班により、6 月以降、毎月休館日にスタッフ 10 名程度で閲覧機及び館内 PC のキーボード約 80 台の清掃を行っている。さらに 11 月からは、業務支援班による書架の整理と清掃も行っており、プロジェクトチームとそのスタッフは館内を清潔で心地よい空間とするために大きな役割を担っている。

さらに、11 月には図書資産実査における資料番号読み取り作業を依頼した。

また駒場図書館では、平成 28 年 2 月から、建物清掃班（駒場分室）による保存書庫の資料および書架清掃を開始した。頻度は週 1 回、3～4 名のスタッフの丁寧な作業によって、保存書庫内の環境は格段に改善されつつある。その貢献度は極めて高く、今後もプロジェクトチームとの連携を強化、拡大していきたいと考えている。

図書館における業務範囲の拡大は、障害者雇用の促進にもつながることであり、持続的な協力関係が期待される。

## 1.4 総合的教育改革への対応（駒場図書館）

### (1)初年次ゼミナールでの検索実習支援

平成 27 年度から学部新生の必修授業として「初年次ゼミナール文科」および「初年次ゼミナール理科」が開講された。「初年次ゼミナール文科」では、第 2 週授業のアカデミック・スキル、アカデミック・マナー及び検索実習において、駒場図書館職員と情報システム部情報基盤課学術情報チームが検索実習の講師を受け持ち、本学での文献・情報の入手の基本を説明した。

「初年次ゼミナール理科」では、担当教員・TA が検索実習を行ったが、教材作成等に駒場図書館と情報システム部情報基盤課学術情報チームが協力した。

### (2)祝日授業日の開館体制

祝日通常の業務委託スタッフに職員 4 名を加えた体制で祝日授業に対応し、円滑にサービスを行うことができた。

### (3)開館時間の拡大

朝の開館時刻を見直し、12 月 1 日より、平日は 8:40 から 8:30 へ 10 分前倒し、休日は 10:00 から 9:00 へ 1 時間前倒しをして、開館時間を拡大した。

## 1.5 狩野亨吉生誕 150 周年記念展の開催（駒場図書館）

駒場博物館秋季特別展「教育者・菟書家・鑑定人 狩野亨吉生誕 150 年記念展」（10 月 17 日～12 月 6 日）を共催。駒場図書館が所蔵する「狩野文書」から狩野が残した来簡やメモ、授業ノート、日記や目録などを展示するとともに、関連企画として、駒場図書館企画展（第 14 回ホームカミングデイ企画展示）（10 月 17～25 日）を開催。1 階展示コーナーで、明治後期の一高校長・狩野亨吉から一高に寄贈され、一高生の勉学に使われた、精選された洋書を中心とするコレクションを展示した。

## 1.6 台湾漢学資料センター（TRCCS）コーナーの運用開始（駒場図書館）

東京大学附属図書館と台湾・国家図書館との覚書に基づき本学に設置されることが決まった台湾漢学資料センター（TRCCS）コーナーは、総合図書館と駒場図書館との申し合わせによりアジア研究図書館が開設されるまでの間、駒場図書館地下 2 階に設置されることになり、11 月 26 日から運用を開始した。

## 1.7 地図アーカイブ事業の推進（柏図書館）

柏図書館は、空間情報科学研究センターと連携し、地図アーカイブ事業を推進している。平成 27 年度は、柏キャンパスの一般公開の際に古地図に関する講演会と古地図の展示を行った。さらに日本地図学会が所蔵していた、外国から提供を受けた約 2 千枚の大判地図のコレクション（主体は 1980 年国際地図学協会（ICA）東京大会・国際地図展に出展された貴重な世界各国の地図約 1,200 図）の寄贈を受けた。

## 2. 研究成果の発信、資料の電子化

### 2.1 機関リポジトリ：東京大学学術機関リポジトリ（UTOKYO REPOSITORY）

平成 27 年度は全体で 2,643 件のコンテンツ追加登録を行い、これにより総コンテンツ数が 34,271 件になった。登録コンテンツの内訳は、紀要・博士論文が中心である。紀要は、昨年度より取り扱いタイトルが 5 誌増加し、76 誌からなる 24,325 件の論文を公開中である。

機関リポジトリに登録された論文等の平成 27 年度の本文 PDF ダウンロード件数は 7,497,908 件に達し、本学の研究成果の発信に貢献している。

### 2.2 所蔵資料の電子化

情報システム部情報基盤課学術情報チームデジタル・ライブラリ担当が運用管理する貴重書サーバーにより、22 の貴重資料コレクションを Web で公開している。平成 27 年度は、新規のコレクション追加はなかったが、教育用掛図のデータ追加、大日本海志編纂資料のデータ修正、平賀譲デジタルアーカイブのシステムアップデートの対応を行った。

### 2.3 教育用掛図の修復及び電子化事業（駒場図書館）

現在駒場図書館では約 300 点の教育用掛図を所蔵しており、そのうち約 200 点は第一高等学校（一高）旧蔵のもの、残る約 100 点は平成 25 年に総合図書館地下から発見され駒場図書館に移管されたものである。後者の中には、大学南校（明治 2～6 年）、一高の前身である東京英語学校（明治 7～10 年）、帝国大学以前の東京大学（明治 10～19 年）時代に受け入れたものが含まれており、旧蔵の一高掛図にさらに貴重なコレクションが加わる形となった。平成 16～21 年度にかけて、一高旧蔵掛図の一部の修復、電子化、ウェブ公開が行われたが、それ以降は財源の目途が立たず事業を中断していたところ、平成 26 年度公益財団法人田嶋記念大学図書館振興財団助成金によって、平成 27 年度より修復及び電子化事業を再開、ウェブサイトの更新を行った。平成 28 年度も 2 年連続で採択された同助成金により事業は継続される予定である。

### 2.4 平賀譲総長関係資料の受け入れとデジタル化（柏図書館）

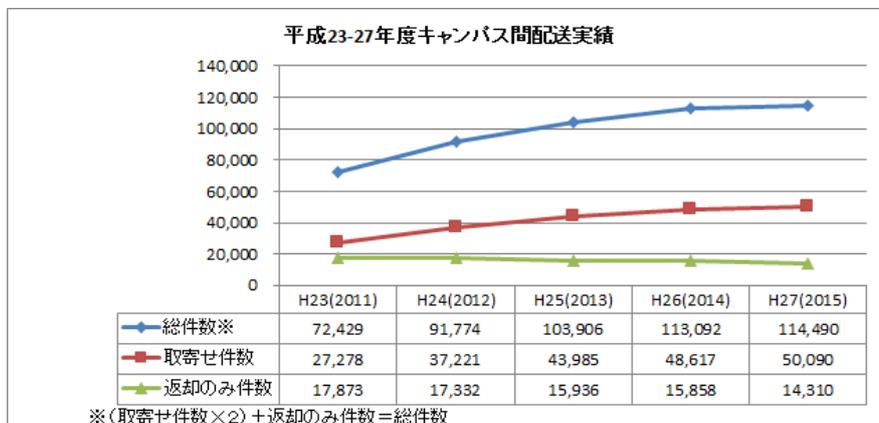
造船学科旧蔵資料および横浜国立大学から搬入された平賀譲関係資料の一部を電子化し、公開した。今後も逐次資料を電子化し、公開することを予定している。

## 3. 利用者サービス、ガイダンス、広報

### 3.1 MYOPAC による文献取寄せ申込

平成 23 年 3 月から、利用者自身が直接所蔵館に図書を取寄せ申込みをすることができるようになったが、このサービスは年々利用が増加している。

学内図書館・室の取寄せ冊数は、前年度の約 48,600 冊から約 50,000 冊に増加、取寄せのほか、図書の返送のみの利用も含めると約 114,500 冊の利用に上り、学内の図書資源共有に不可欠なサービスとして定着している。



なお、原則としてホームライブラリと同じキャンパス内にある図書館・室に対する文献取り寄せサービスの申込は受け付けていないが、直接来館が困難な障害のある利用者や、演習林等の遠隔地附属施設所属者に対して、依頼先がホームライブラリと同一キャンパス内であっても取寄せサービスを行っている。

### 3.2 祝日授業実施への対応

平成 27 年度より、学部教育の総合的改革の一環として、本学の学事暦が大きく変更された。4 ターム制の実施や授業時間の変更を柱とするものだが、授業回数確保のため、平成 27 年度は標準授業日程において 9 月から 2 月にかけて 7 回の祝日授業実施日が設けられた。

これらの祝日授業実施日に、総合図書館では書庫サービスのうち学内者の入庫・貸出・返却を可能とする対応を行った。

また、駒場図書館では駒場キャンパス祝日授業日の 6 日間、学内者に対し、開館時間延長など平日に近いサービスを実施した。

### 3.3 アジア経済研究所図書館との連携事業（駒場図書館）

アジア経済研究所図書館との相互利用協定に基づき以下の事業を実施した。

- ・図書館見学ツアー・講演会（7月31日 アジア経済研究所図書館）参加者 15 名
- ・ブックトーク（11月6日 駒場キャンパス 21KOMCEE West K301）参加者 28 名  
テーマ：「国際合意はいかにして成立するのか：ASEAN から学ぶ」  
講師：鈴木早苗（アジア経済研究所研究員）

著作：「合意形成モデルとしての ASEAN」（東京大学出版会, 2014）

### 3.4 駒場図書館キャラクター「こまとちゃん」を活用した広報（駒場図書館）

公式キャラクター「こまとちゃん」を活用し、学生を中心とする利用者に図書館の活動に対して興味を深めてもらうことを目指した広報活動を行った。ホームページや Twitter、館内の掲示や展示において、キャラクターの魅力を活かした視覚的な案内を心掛けた結果、図書館からのメッセージを効果的に伝えることができ、利用者からの好意的な反応が得られた。

また、図書館総合展「第 1 回キャラクター・グランプリ」（エントリー数 142）に参加し「館の働き者」部門で入賞を果たした後、これまでのこまとちゃんの活躍を「学内広報」No. 1478（2016.2.23）で紹介した。



### 3.5 館内サービス環境の改善（柏図書館）

2 階閲覧室に設置されている利用者用の OPAC 専用端末 2 台の更新を行うとともに、利用者の動線を考慮した位置に情報検索コーナーを移動した。

また、利用者の利便性を高めるため、2 階閲覧室のコピー機を更新し機能向上を進めた。

1 階レストコーナーにソファ席を置き、休憩のスペースとして機能するよう見直しを行った。

### 3.6 図書館ガイダンス、講習会等

新入生や留学生などを対象に、図書館案内や、資料検索のガイダンス等を実施した。

#### (1) 総合図書館

平成 27 年度は、新規利用者等を対象に以下の説明会を実施した。今年度から 4 ターン制が開始されたため、実施期間を試行的に変更し、春季は入学式までのほぼ 1 週間、逆に秋季は学部による開講時期の違いに対応して 3 週間とした。内容は、①図書館利用案内、② 館内・書庫案内、③本や論文の探し方、である。なお、③の実施に当たっては、情報システム部情報基盤課学術情報チーム学術情報リテラシー担当の全面的な協力を得て実施している。

留学生に対しては、引き続き各研究科で留学生オリエンテーションを実施する部署と連携し、以下のとおり日本語または英語による図書館利用説明を行った。

期間	内容	参加者数
平成 27 年 4 月 2～ 13 日	日本語コース 4 回、英語コース 2 回	126 名
平成 27 年 9 月 4 日～ 10 月 23 日	日本語コース 2 回、英語コース 2 回	17 名
春季	留学生オリエンテーション（人文） 1 回	10 名
秋季	留学生オリエンテーション（人文 1 回、工・情理 2 回） 3 回	26 名

## (2) 駒場図書館

文系 1 年生の「初年次ゼミナール文科」で検索実習のほか、オプションとして図書館ツアーも行った。院生・留学生向けのガイダンス、授業での文献検索ガイダンスや専門データベース講習会も実施した。

期間	内容	参加者数
春季・秋季	大学院新入生向け図書館ガイダンス 7 回	28 名
春季	初年次ゼミナール文科 検索実習 12 回（情報システム部情報基盤課 学術情報チームと共催）	1,285 名
春季	初年次ゼミナール文科 オプション図書館ツアー 75 回	312 名
秋季	留学生向け図書館ツアー 3 回	7 名
秋季	PEAK 初年次ゼミナール 検索実習・図書館ツアー 1 回	32 名
(随時)	授業内での文献検索ガイダンス等 3 回	19 名
(随時)	専門データベース講習会 6 回（情報システム部情報基盤課学術情報チームと共催）	45 名

## (3) 柏図書館

4 月～7 月、9 月～11 月の新任職員、新入生が入る時期を重点的に、新領域創成科学研究科を中心に講習会等を実施した。適宜、情報システム部情報基盤課学術情報チームや出版者・代理店等と連携して、理系分野で役立つ専門データベース等について、専門の講師を招いてセミナー等を開催した。

また、学期ごとに開催していた ECCS 新規利用者講習会について、学事暦の変更に伴い、タームごとに開催できるよう情報基盤センターと調整を行い、S2 タームの始め（6 月）に追加開催した。加えて、留学生ガイダンスの中でも行うなど、柏キャンパスに在籍する学生の、ECCS 新規利用者講習会の受講機会の拡大につとめた。

期間	内容	参加者数
春季・秋季	新領域創成科学研究科 新入生ガイダンス 計 8 回	336 名
春季・秋季	新領域創成科学研究科 留学生ガイダンス 計 2 回	110 名
春季・秋季	柏図書館ライブラリーツアー	29 名
春季・秋季	データベース講習会 計 15 回	90 名
春季・秋季	英語セミナー 計 2 回 (新領域、柏 IO 連携)	11 名
春季・秋季	ECCS 講習会 9 回 (情報基盤センターとの共催)	239 名

### 3.7 オープンキャンパス 2015、柏キャンパス一般公開

平成 27 年度も、本郷キャンパスで 2 日間、「高校生のためのオープンキャンパス」が開催された。

#### (1) 総合図書館

オープンキャンパス 2015 に、「参加自由企画」として参加し、共同利用棟の下のエリアで新図書館計画パネル展示を行った。

期間	内容
平成 27 年 8 月 5～6 日	新図書館計画パネル展示 (共同利用棟下)

#### (2) 柏図書館

柏キャンパス一般公開に参加し、以下の事業を行ったほか、来訪者への館内公開を行った。今年度は「国際光年」「地図」をテーマに、様々な企画を実施した。

期間	内容	参加者数
平成 27 年 10 月 23～ 24 日 (柏図書館内に総合 案内を設置)	<柏キャンパス一般公開：柏図書館テーマ「きらめき探そう図書館で」>	約 8,000 名
	「東大柏ブックレビューLIVE!」：東大生の書評ライブ！ 10/23 新領域創成科学研究科、物性研究所、大気海洋研究所の院生等 11 名出場	66 名
	「富士山と伊能忠敬」：サイエンストーク 10/23	-
	ギャラリートーク (西川治名誉教授地図資料コレクション) 10/23	-
	「身近な科学現象を写す」：ワークショップ 10/24	20 名

	「東大生の本棚 2015」：学生おすすめ図書展示（東大柏ブックレビュー-LIVE!連動企画）	-
	「リケジョの本あります」：特別資料展示（柏キャンパス図書館室合同企画「わたしと図書館」）協力：国立女性教育会館、科学技術振興機構	-
	「リケジョの My 研究生活」：パネル展示（柏キャンパス図書館室合同企画「わたしと図書館」）	-
	「光」：所蔵資料展示（柏市内 4 大学連携展示）	-
	「地図・マップいろいろ～陸・海・空・宙～」（空間情報科学研究センター、Kavli IPMU 連携）	-
	「アナグリフマップ（余色立体写真図）って何だ!？」（空間情報科学研究センター連携）	-
	「タイムトラベル～いわて・みやぎの情景～」（空間情報科学研究センター連携）	-

### 3.8 展示会、講演会、コンサート、映画上映会など

平成 27 年度は、以下の展示会等を実施した。また、東京大学出版会主催の東京大学南原繁記念出版賞表彰式を総合図書館にて開催し、出版会との連携を深めた。

#### (1) 総合図書館

期間	内容
平成 27 年 5 月 14～ 27 日	日・EU フレンドシップウィーク国際資料室展示 「EU はどのように意思決定するのか：欧州議会と EU の立法過程」(総合図書館 1 階)

平成 27 年度は、耐震改修工事対応のため、特別展示や資料展示は休止となった。

#### (2) 駒場図書館

期間	内容
平成 27 年 10 月 17～25 日	第 14 回ホームカミングデー企画展「狩野亨吉が一高生に遺した図書たち」 (駒場図書館 1 階展示ロビー)
10 月 17 日 ～12 月 6 日	秋季特別展「教育者・菟書家・鑑定人 狩野亨吉生誕 150 周年記念展」 主催：駒場博物館・駒場図書館（駒場博物館）

11月6日	ブックトーク「国際合意はいかにして成立するのか：ASEANから学ぶ」 主催：駒場図書館・アジア経済研究所図書館（21KOMCEE West K301）
平成28年 2月19日 ～3月18日	こまとちゃんが泣いている～展示：駒場図書館の汚損本～ （駒場図書館1階展示ロビー）



なお、展示ケース利用制度による学生団体の展示ロビー利用は5件（計102日間）あり、サークルや研究活動を紹介する展示が利用者の注目を集めた。

### (3) 柏図書館

期間	内容	参加者数
平成27年 4月～5月	第3回企画展示「雑誌でたどる戦前・戦中・戦後の科学」柏図書館所蔵雑誌の展示（会期：平成27年2月9日～5月29日）	-
5月28日	第15回上映会『海水を抜いてみた！世にも不思議な海底地形』（2011年アメリカ90分）	45名
6月～11月	第4回柏図書館企画展示「進化のいろいろ 駒場博物館資料展示」	-
6月26日	第17回わくわくミニコンサート（出演7組12名）	99名
7月15日	第8回サイエンスカフェ『恵美須ヶ鼻造船所跡－明治日本の産業革命遺産－』 ゲスト（講演）：安達裕之 東京大学名誉教授	27名
9月2日	第9回サイエンスカフェ「あなたの知らない蛾の世界」 ゲスト（講演）：神保宇嗣 博士	20名
9月10日	第10回サイエンスカフェ「海底の地図をつくる－水深測定の今昔－」 ゲスト（講演）：沖野郷子教授	22名
11月25日	第18回わくわくミニコンサート（出演7組11名）	44名
12月～3月	第5回企画展示 駒場博物館所蔵資料展「東京大学とノーベル賞」	-

12月10日	第11回サイエンスカフェ「1万トンの太陽光発電所を宇宙に造る」 ゲスト（講演）：小紫公也教授（東京大学工学系研究科）	27名
平成28年 1月～3月	第16回 柏図書館上映会『おとなのかぐく』（1～5月：連続上映）	-

## 4. 資料の収集

### 4.1 学習用図書整備

平成 20 年度から恒常的に措置されている学習基盤経費により、今年度は総合・駒場・柏図書館で合計 13,442 冊（総図：6,441 冊、駒場：5,229 冊、柏：1,772 冊）の学習用図書を購入した。図書の選定に際しては、教員からの推薦、図書館職員による選定のほか、学生自身の観点を生かすため、ジュニア TA による選書を実施している。また、留学生向けの資料購入も別途行っており、総合図書館では 21 冊、柏図書館では洋書を中心に 72 冊の図書を購入した。

また、柏図書館では、電子ブックトライアルによる選書を試行した。

### 4.2 全学資料購入集中処理システムの着実な運用

経費節減と事務の効率化を図ることを目的として、図書資料を全学的に共同購入するシステムを平成 16 年度から運用している。第 1 ステージ（図書館・室を通して購入する図書資料）と第 2 ステージ（教員等が各部署の会計担当を通して直接購入する消耗品扱いの図書資料）をあわせた平成 27 年度の取扱総額は、約 2 億 7,000 万円であり、約 1,300 万円の図書購入費を節約することができた。

### 4.3 全学共通経費による基盤的学術雑誌等の整備

平成 18 年度に学内施策として合意された「全学共通経費による基盤的学術雑誌等の整備」の制度は、平成 24 年度からの第 2 期が平成 27 年度で最終年を迎えた。

この制度に基づき、国内雑誌・外国雑誌 18,260 タイトル（冊子・電子ジャーナルを含む）、データベース 70 点を契約し、学習・教育研究活動に必要な学術情報を安定的に供給した。これらの契約にかかる事務処理は総合図書館が一括して執り行い、学内の契約・支払い業務の効率化も同時に図っている。

平成 28 年度から始まる第 3 期に向けては、昨年度実施した学内調査の結果に基づき、資料選定方針や予算規模について、図書行政商議会で検討を行い合意が得られた。またそれに沿ってタイトルの選定を行った。

### 4.4 大型コレクション

全学共通経費の大型コレクション収集枠を利用して、次の資料を整備することとした。

- (1) Early European Books Collection 3（初期欧州書籍集成データベースコレクション 3）
- (2) 南アジア・アーカイブ・オンライン（South Asia Archive）
- (3) 全国報刊索引（晩清期刊全文数拠庫・中文期刊全文資料庫）
- (4) ミャンマー地形図（Evmap50）

## 5. 資料の管理

### 5.1 目録データの遡及入力事業

附属図書館では、オンライン蔵書検索システム（OPAC）が導入される以前の紙の目録カードで整理されていた全学の図書について、遡及的に目録データを入力することによって、オンラインで検索できるようにする事業を 10 年計画で進めている。

平成 27 年度から開始した第 3 期全学遡及入力計画では、前半の 5 年間は、国文学研究資料館が中心となって実施する「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク事業」に伴う「日本語の歴史的典籍データベース」の構築や東京大学新図書館計画を踏まえて総合図書館所蔵資料を優先して行うこととした。加えて、今年度は駒場図書館、法学（明治新聞雑誌文庫を含む）、工学、文学、東文研所蔵の和古書・漢籍等の入力を実施した。合計で 29,100 冊の目録作成を目標とし、約 38,900 冊（うち総合図書館は約 12,700 冊）のデータ入力を達成した。

### 5.2 自動化書庫への雑誌移管（柏図書館）

今年度は総合図書館、医学、工学(6)、理学(2)、農学生命科学、医科研、東文研、物性研、大海研、先端研の 16 図書館・室から、自然系学術雑誌のバックナンバー 9,686 冊を、9 月 28 日～10 月 5 日に移管し、自動化書庫に収納した。現在、自動化書庫には総合図書館からの預かり資料も含めて合計約 378,000 冊が収納されており、PDF 閲覧サービスを通じて全学の利用に供されている。

### 5.3 開架図書の移動

#### (1) 総合図書館

書架狭隘化解消のため、利用が少ない図書のうち、最近数年間に貸出実績のない、和書は自然科学系を中心に約 8,500 冊を、洋書は人文社会系を中心に約 2,500 冊を地下書庫へ移動した。またこれらのうち、重複や著しい汚損・破損のある図書については除籍手続を開始した。今後も同様の計画を実施し、継続して閲覧環境の改善を図る予定である。

#### (2) 駒場図書館

4 階の開架図書のうち利用が少ないものを地下集密書架へ約 2,100 冊、保存書庫へ約 800 冊、計 2,900 冊の移動を行い、開架スペースの確保を行った。破損本の補修、除籍などもあわせて、蔵書の維持管理と閲覧環境の改善を目指したい。

## 5.4 図書資産の実査

### (1) 総合図書館

総合図書館の図書資産実査は、10年で全資料を一巡する計画で順次実施している。計画の最終年度である平成26年度は、前年度に前倒しで目録入力済資料の実査を完了したため、遡及入力による確認（図書18,432冊、製本雑誌・学位論文等71,808冊）のみを行った。また、昨年度の不明資料36冊（書庫内和書）の再調査を併せて実施した結果、22冊については依然不明であったため、亡失資料として除籍手続を行った。

### (2) 駒場図書館

開架2階～4階を中心に合計141,176冊を対象とし、ジュニアTA10名により9月に実施した。その結果、151冊の不明資料があった。不明資料は平成28年度に再調査する。また、昨年度の不明資料96冊の再調査を併せて実施した結果、38冊が依然不明であったため除籍手続を行う予定である。

### (3) 柏図書館

開架図書の0類から2類および新書・文庫、参考図書、留学生用図書、合計11,115冊を対象とし、10月から11月にかけて実施した結果全冊確認された。また、昨年度の不明資料12冊の再調査を併せて実施した結果、9冊については依然不明であったため、亡失資料として除籍手続を行った。

## 5.5 総合図書館改修に伴う資料の移転と運用

### (1) 館外一時移転資料の運用

平成27年度までに館外に移転した資料のうち、学内で保管している資料を、柏図書館、数理科学研究科図書室、先端科学技術研究センター図書室の支援により、学内者の利用に供している。

### (2) 移転資料の管理

移転先の施設には、除湿機を設置し、Webの温湿度遠隔監視システムによってモニターし、資料保管環境に異常のないことを確認している。

## 6. 業務管理

### 6.1 職員研修

附属図書館研修プログラムとして、業務に必要な知識を習得し、業務を効率化・省力化するためのスキルを身に付けた人材を効果的に育成していくため、業務のニーズにあった目的別研修メニューを実施した。

#### (1) 業務研修・施設見学会

期間	内容	参加者数
平成 27 年 10 月 20 日	「図書館職員が社会人大学院に通ったら ～院生になってわかったイマドキの大学事情」 講師 佐藤千春、横井慶子、新見慎子、松原恵	11 名
12 月 2 日	「東京大学のコレクションと私の研究・展示 ～大日本海志編纂資料、平賀文書、狩野文書」 安達 裕之（本学名誉教授（元・総合文化研究科）、日本海事史学会会長）	13 名
12 月 15 日	「展示の現場を知る – 図書館を“ひらく”ために」 講師：古野朋子（国立国会図書館利用者サービス部サービス企画課展示企画係長）	14 名
平成 28 年 1 月 28 日、 2 月 18 日	「保存と修理の基礎知識 ～急がばまわれ」 講師：田崎 淳子（資料保存部会(仮)移行準備プロジェクトチーム/ 駒場図書館利用者サービス係長）、小原智未（駒場図書館利用者サービス係）	25 名

### 6.2 友の会（柏図書館）

柏図書館友の会は、柏図書館の活動支援や会員相互、及び柏図書館職員との交流の促進を図ることを目的として、平成 20 年度に発足した。第 7 回総会を平成 27 年 5 月 28 日に開催し、会長その他の役員や事業計画が承認された。また、理事会を平成 28 年 3 月 7 日に開催し、翌年度の活動計画や会則の見直しについて、議論を行った。平成 28 年 3 月 31 日現在の一般会員（個人）は 416 名である。

わくわくミニコンサート（6 月、11 月）では、昨年度に引き続き、柏図書館職員、学生スタッフ、友の会ボランティアとの共同運営を試行した。

### 6.3 インターンシップ

大学図書館への就職を志望する大学生をインターンシップとして受入れ、実務研修を実施した。（9 月 2 日～13 日実施、1 大学 2 名受入）

## 6.4 高校生「奉仕体験学習」の受入（柏図書館）

都立高校 1 学年「総合的な学習の時間」の中で実施している教科「奉仕」の校外活動として、サービス業務を中心に体験する機会を提供した。（8 月 7 日実施、1 高校 1 名受入）

## 6.5 地域連携（柏図書館）

### （1）図書館見学バスツアーとビブリオバトル

柏図書館は、柏市立図書館並びに柏市内 3 大学図書館と連携して、市マイクロバスを利用した市民向けの「四大学図書館見学バスツアー」、及び大学生を中心に若年層への読書支援を目的とした「知的書評合戦（ビブリオバトル）」に参加した（11/21）。

### （2）中学生職場体験の受入

柏市内の市立中学校 3 校 8 名からの中学生職場体験を受け入れ、「生徒が事業所などの職場で働くことを通じて、職業や仕事の実際について、体験したり、働く人々と接したりする学習活動」の場を提供した。

## 6.6 学内他部署との連携

総合図書館、駒場図書館、柏図書館では、東京大学基金の「古本募金 Books for NEXT」と連携し、来館者からの古本寄付を積極的に募集している。

駒場図書館では平成 26 年度より教育サポート担当部署との協力により「駒場 I キャンパスにおける教育サポート情報交換会」を開催している。

平成 27 年度は 11 月 10 日に「教育サポートの現場から」及び「教育サポートの国際化」をテーマに開催し、関連部署からの 12 件の報告があった。駒場 I キャンパス外も含めて学内から 56 名の参加があり、複雑になった各組織の業務内容・課題等への理解を深めることができた。

## 6.7 規則改正

総合図書館では、総合図書館準貴重図書指定基準の制定に伴う準貴重図書の取扱いについて、および東京大学教育学部附属中等教育学校生徒への総合図書館サービスについて定め、利用規則、利用細則の一部改正を行った。

また、駒場図書館では、12 月 1 日からの開館時間繰り上げに対応して、利用規則の一部改正を行った。

## 7. 年間活動表

### 7.1 平成 27 年度図書館活動日誌

実施日	活動内容
平成 27 年 4 月 8～28 日	駒場図書館ガイダンス（院生向け）（計 6 回）
4 月 14～20 日	初年次ゼミナール文科 検索実習（計 12 回）（駒場図書館）
4 月 6 日 ～6 月 25 日	初年次ゼミナール文科 オプション図書館ツアー（計 75 回）（駒場図書館）
4 月～5 月	第 3 回企画展示「雑誌でたどる戦前・戦中・戦後の科学」柏図書館所蔵雑誌の展示（会期：平成 27 年 2 月 9 日～5 月 29 日）
4 月 25 日	「図書館再生——なぜ図書館は生まれ変わるのか」 (印刷博物館・ヴァチカン教皇庁図書館展 II「書物がひらくルネサンス」オープニング講演・シンポジウム)
5 月 14～ 27 日	日・EU フレンドシップウィーク国際資料室展示 「EU はどのように意思決定するのか：欧州議会と EU の立法過程」（総合図書館 1 階）
5 月 28 日	文学インタビュー第 2 回 古井由吉（〈現代作家アーカイブ〉by 飯田橋文学会）【東京大学新図書館トークイベント EXTRA】公開収録
5 月 28 日	第 15 回上映会『海水を抜いてみた！ 世にも不思議な海底地形』（2011 年 アメリカ 90 分）
6 月 25 日	新図書館トークイベント 13「石川正俊教授講演会 Library Meets Robots—最先端テクノロジーが開く知の未来—」
6 月～11 月	第 4 回柏図書館企画展示「進化のいろいろ 駒場博物館資料展示」
6 月 26 日	第 17 回わくわくミニコンサート（出演 7 組 12 名）
7 月 15 日	第 8 回サイエンスカフェ『恵美須ヶ鼻造船所跡 - 明治日本の産業革命遺産 -』 ゲスト（講演）：安達裕之 東京大学名誉教授
8 月 5～6 日	オープンキャンパス 2015（本郷） 新図書館計画パネル展示（総合図書館）
9 月 2 日	第 9 回サイエンスカフェ「あなたの知らない蛾の世界」 ゲスト（講演）：神保宇嗣 博士
9 月 9 日	これからの東大図書館で何したい？-ミニレクチャールームオープニングイベント（開催場所：ミニレクチャールーム）
9 月 22 日	PEAK 初年次ゼミナール 検索実習・図書館ツアー（駒場図書館）
9 月 29 日	駒場図書館ガイダンス（院生向け）

9月29日～ 10月2日	駒場図書館留学生向け図書館ツアー（計3回）
9月10日	第10回サイエンスカフェ「海底の地図をつくるー水深測量の今昔ー」 ゲスト（講演）：沖野郷子教授
10月17日	新図書館トークイベント14「林和弘氏、有田正規氏講演会 オープンな知がイノベーションを生む -オープンサイエンスの潮流と図書館の可能性-」
10月17～25日	第14回ホームカミングデー企画展「狩野亨吉が一高生に遺した図書たち」（駒場図書館1階展示ロビー）
10月17日 ～12月6日	秋季特別展「教育者・蒐書家・鑑定人 狩野亨吉生誕150周年記念展」主催：駒場博物館・駒場図書館（駒場博物館）
10月23～ 24日  (柏図書館内に総合案内を設置)	<柏キャンパス一般公開：柏図書館テーマ「きらめき探そう図書館で」> 「東大柏ブックレビューLIVE!」：東大生の書評ライブ！ 10/23 新領域創成科学研究科、物性研究所、大気海洋研究所の院生等11名出場 「富士山と伊能忠敬」：サイエンストーク 10/23 ギャラリートーク（西川治名誉教授地図資料コレクション） 10/23 「身近な科学現象を写す」：ワークショップ 10/24 「東大生の本棚2015」：学生おすすめ図書展示（東大柏ブックレビューLIVE!連動企画） 「リケジョの本あります」：特別資料展示（柏キャンパス図書館室合同企画「わたしと図書館」） 協力：国立女性教育会館、科学技術振興機構 「リケジョのMy研究生活」：パネル展示（柏キャンパス図書館室合同企画「わたしと図書館」） 「光」：所蔵資料展示（柏市内4大学連携展示） 「地図・マップいろいろ～陸・海・空・宙～」（空間情報科学研究センター、Kavli IPMU 連携） 「アナグリフマップ（余色立体写真図）って何だ!？」（空間情報科学研究センター連携） 「タイムトラベル～いわて・みやぎの情景～」（空間情報科学研究センター連携）
11月3日	新図書館トークイベント15 講演会「21世紀の図書館の指針-ドイツにおけるグリーンライブラリー、ハイブリッドライブラリーの実践-」
11月6日	ブックトーク「国際合意はいかにして成立するのか：ASEANから学ぶ」主催：駒場図書館・アジア経済研究所図書館（21KOMCEE West K301）
11月6日	ワークショップ「図書館のミライ in Berlin & Tokyo - 変革する時代における日独図書館の取り組み-」
11月10～ 12日	第17回図書館総合展(主催:図書館総合展運営委員会)ポスターセッション参加 最優秀賞受賞（開催場所：パシフィコ横浜 展示ホールD）
11月25日	第18回わくわくミニコンサート（出演7組11名）
12月～3月	第5回企画展示 駒場博物館所蔵資料展「東京大学とノーベル賞」
12月1日～	開館時刻の繰り上げ変更（駒場図書館）
12月10日	第11回サイエンスカフェ「1万トンの太陽光発電所を宇宙に造る」

	ゲスト（講演）：小紫公也教授（東京大学工学系研究科）
12月20日	文学インタヴュー第4回 谷川俊太郎（〈現代作家アーカイヴ〉by 飯田橋文学会）公開収録
平成28年 1月～3月	第16回 柏図書館上映会『おとなのかかく』（1～5月：連続上映）
1月25日	第1回人文情報学拠点シンポジウム/東大新図書館トークイベント16/日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画共催事業「HathiTrustとデジタルアーカイブの未来」
2月19日～ ～3月18日	こまとちゃんが泣いている～展示：駒場図書館の汚損本～（駒場図書館1階展示ロビー）
3月11日	「図書館で体を動かそう！～石井直方先生が教える、疲れにくく元気な体をつくる「スロトレ」エクササイズ～」
3月18日	新図書館トークイベント17「東京大学南原繁記念出版賞表彰式・第4回受賞者講演会」 講演：小林延人氏「日本経済史研究の一方法-『明治維新期の貨幣経済』に即して」

## 7.2 平成27年度附属図書館会議開催一覧

開催日	会議名称
平成27年 4月21日	図書行政商議会（第420回）
4月28日	附属図書館連絡会議
5月7日	附属図書館サービス特別委員会（平成27年度第1回）
5月14日	駒場図書館運営委員会（第34回）
5月26日	附属図書館連絡会議
6月23日	附属図書館連絡会議
7月15日	柏図書館運営委員会（平成27年度第1回）
7月22日	図書行政商議会（第421回）
7月28日	附属図書館連絡会議
9月8日	総合図書館運営委員会
9月8日	附属図書館将来計画特別委員会サービス特別委員会合同会議
9月16日	図書行政商議会（第422回）
10月6日	附属図書館連絡会議
10月27日	附属図書館連絡会議
11月10日	附属図書館サービス特別委員会（平成27年度第2回）
11月20日	図書行政商議会（第423回）

11月24日	附属図書館連絡会議
12月10日	駒場図書館運営委員会（第35回）
12月22日	附属図書館連絡会議
平成28年 1月12日	附属図書館将来計画特別委員会（平成27年度第3回）
1月15日	総合図書館運営委員会（平成27年度第2回）
1月19日	附属図書館サービス特別委員会（平成27年度第3回）
1月26日	図書行政商議会（第424回）
1月27日	附属図書館運営委員会（平成27年度第1回）
1月26日	附属図書館連絡会議
2月23日	附属図書館連絡会議
2月25日	学術情報基盤整備検討懇談会
3月10日	駒場図書館運営委員会（第36回）
3月14日	柏図書館運営委員会（平成27年度第2回）
3月15日	附属図書館運営委員会（平成27年度第2回）
3月15日	図書行政商議会（第425回）
3月15日	附属図書館サービス特別委員会（平成27年度第4回）
3月22日	附属図書館連絡会議

# 全図書館・室統計

## 1. 職員数、蔵書数、利用統計

図書館名	職員数		蔵書数				資料費総額				図書				受入資料数				相互利用	
	常勤 (人)	非常勤 (人)	和書 (冊)	洋書 (冊)	合計 (冊)	逐次刊行物		資料費 総額 (千円)	和書 (冊)	洋書 (冊)	合計 (冊)	逐次刊行物		和書 (冊)	洋書 (冊)	合計 (冊)	郵送書出 (冊)	受付 (冊)	依頼 (冊)	
						和文 (冊)	英文 (冊)					和文 (冊)	英文 (冊)							和文 (冊)
大学院法政学政治学研究所・法学部研究図書室	11	6	276,486	514,627	791,113	2,275	3,754	6,029	66,732	4,191	5,267	9,458	4,505	743	1,026	1,768	1,232	0	557	288
近代日本法政史料センター 医学図書館	2	4	58,213	805	59,018	7,865	31	7,896	23,022	2,171	300	2,471	2,019	652	205	857	416	17,784	5,853	1,285
工学・情報理工学図書館	10	5	108,037	165,875	273,912	1,979	1,982	3,971	22,959	2,138	1,824	3,962	2,776	1,013	581	1,594	1,015	34,262	693	247
大学院人文社会系研究科・文学部図書室	6	18	161,691	239,988	401,679	4,319	3,551	7,870	64,144	6,839	6,118	12,957	4,726	595	937	1,532	1,110	16,849	1,032	596
大学院理学系研究科・理学部図書室	5	10	41,863	187,689	229,552	970	3,216	4,186	19,946	672	1,621	2,293	751	297	314	611	263	8,765	385	80
農学生命科学図書館	11	4	250,502	169,920	420,422	7,361	5,369	12,730	51,784	2,515	390	2,905	1,083	1,416	1,081	2,497	1,136	13,814	3,497	135
経済学図書館	9	10	505,551	328,707	834,258	11,266	4,717	15,983	29,348	3,763	1,527	5,290	2,281	635	359	994	449	22,086	280	187
駒場図書館・大学院総合文化研究科図書室・自然科学図書室	14	22	586,979	523,739	1,110,718	2,569	4,276	6,845	54,685	14,797	4,248	19,045	7,129	679	713	1,392	1,019	170,858	741	885
グローバル地域機構 大学院教育学研究科・教育学部図書室	1	2	8,492	67,870	76,362	144	1,094	1,238	3,745	85	441	526	246	41	59	100	61	2,503	769	606
大学院教育学研究科・教育学部図書室	3	4	89,291	66,393	155,684	2,823	1,123	3,946	8,417	2,343	548	2,891	772	468	201	665	359	12,547	789	67
薬学図書館	2	1	11,959	33,276	45,235	378	464	842	7,203	316	305	621	238	99	35	134	45	2,719	339	67
大学院数理学部研究科図書室	2	3	15,335	134,723	150,058	135	1,667	1,802	34,810	255	1,906	2,161	659	27	535	562	354	6,345	160	2
大学院情報理工学・工学部図書室	2	4	70,570	54,857	125,427	1,990	1,364	2,754	2,257	615	227	842	159	161	83	244	139	5,399	548	154
社会科学部研究科センター 社会科学部図書室	0	4	13,783	5,070	18,853	0	0	0	1,467	168	12	180	0	0	0	0	0	0	0	0
医科学研究所図書室	2	1	4,329	36,950	41,279	325	856	1,181	239	0	0	0	0	19	25	44	23	100	76	122
地盤研究所図書室	2	1	21,715	35,378	57,093	1,200	1,254	2,454	2,639	559	189	746	60	242	141	383	104	896	120	15
集洋文化研究所図書室	5	5	498,923	186,425	685,348	2,700	7,213	9,913	8,140	2,392	1,591	3,983	1,977	427	730	1,157	534	252	378	40
社会科学研究所図書室	7	0	207,268	139,184	346,452	5,082	2,188	7,270	16,243	2,476	1,241	3,717	1,281	770	320	1,090	554	10,171	191	34
生産技術研究所図書室	2	0	59,053	94,745	153,798	982	1,541	2,523	1,164	84	87	171	134	128	136	264	140	623	50	83
史料編纂所図書室	6	9	519,521	15,983	535,504	2,830	268	3,118	6,940	2,692	247	2,939	710	1,436	37	1,473	105	0	180	12
宇宙線研究所図書室	0	1	980	23,309	24,289	21	214	235	7,743	5	27	32	32	12	58	70	66	151	24	3
物性研究所図書室	2	1	6,819	58,637	65,456	94	635	729	9,352	225	380	605	405	34	8	42	32	4,533	126	5
大気海洋研究所図書室	1	3	22,281	38,711	58,992	1,641	1,189	2,840	4,086	341	449	790	218	420	274	694	98	579	179	45
総合研究博物館図書室	1	1	7,271	2,221	9,492	715	336	1,051	0	381	4	385	0	265	75	340	0	63	0	18
先端科学技術研究センター図書室	1	2	17,312	30,280	47,592	80	414	494	2,228	153	126	279	253	15	7	22	15	1,509	9	60
郵局図書室(室) 計	119	131	4,107,663	3,734,426	7,841,689	68,465	63,316	121,781	448,293	50,200	29,075	79,275	32,394	10,725	7,940	18,665	9,269	334,606	16,585	4,969
総合図書館	38	13	826,684	437,542	1,264,226	11,815	9,755	21,570	1,483,307	9,446	5,340	14,786	9,600	2,559	486	3,055	356	153,479	2,217	104
柏図書館	5	2	121,232	293,975	415,207	7,580	15,949	23,529	16,524	8,661	3,989	12,660	1,844	28	19	47	16	35,669	773	41
総計	162	146	5,055,179	4,465,943	9,521,122	87,860	79,020	166,880	1,948,124	66,307	38,414	106,721	43,838	13,312	8,455	21,767	9,841	523,756	19,575	5,114

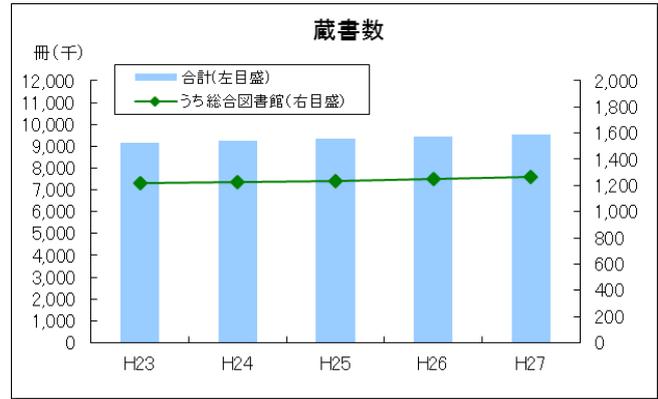
(注) 職員数は別添図書館職員名簿(平成28年4月11日現在)より

## 2. 経年変化

### 2.1 蔵書数

	合計	うち総合図書館
平成23年度	9,152,570	1,217,169
平成24年度	9,266,963	1,227,736
平成25年度	9,350,046	1,234,185
平成26年度	9,450,809	1,250,686
平成27年度	9,521,122	1,264,226

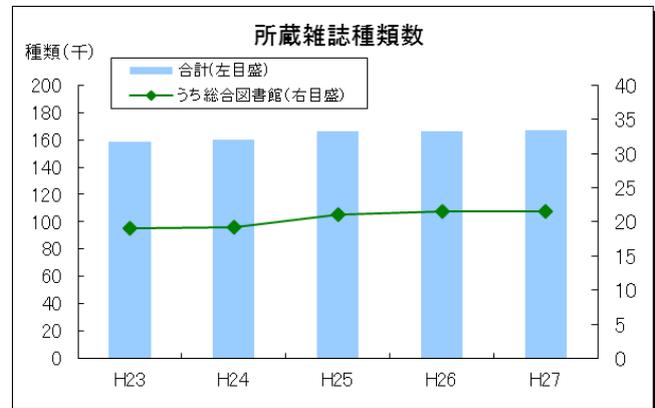
(単位:冊)



### 2.2 所蔵雑誌種類数

	合計	うち総合図書館
平成23年度	158,441	19,096
平成24年度	160,184	19,259
平成25年度	166,258	21,124
平成26年度	166,398	21,520
平成27年度	166,880	21,570

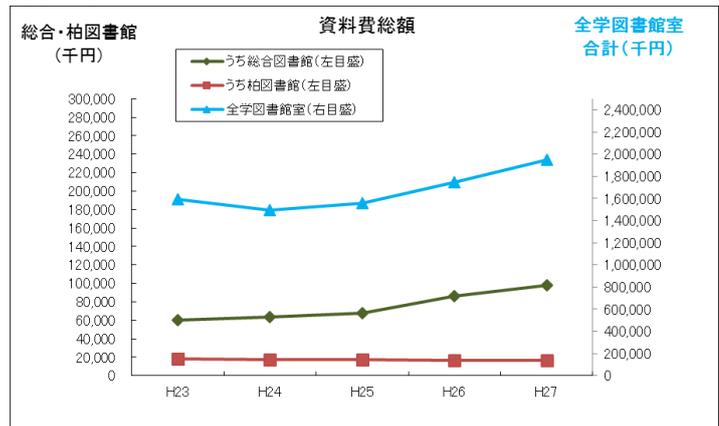
(単位:種類)



### 2.3 資料費総額

	合計	うち総合図書館	うち柏図書館
平成23年度	1,595,579	59,973	18,522
平成24年度	1,492,120	63,286	17,507
平成25年度	1,557,426	67,386	17,517
平成26年度	1,748,144	86,234	16,795
平成27年度	1,950,510	97,552	16,524

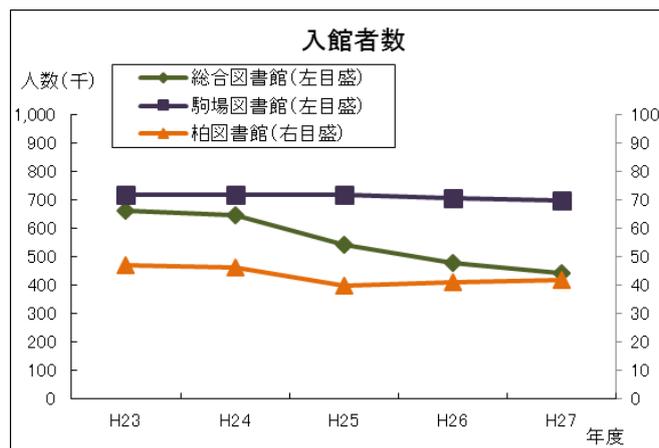
※総合図書館分は全学共通経費を除いた額を計上(単位:千円)



## 2.4 入館者数（延人数）

	総合図書館	駒場図書館	柏図書館
平成23年度	663,288	718,551	47,130
平成24年度	646,679	717,568	46,015
平成25年度	543,942	716,671	39,947
平成26年度	476,316	706,567	40,905
平成27年度	440,082	698,753	41,854

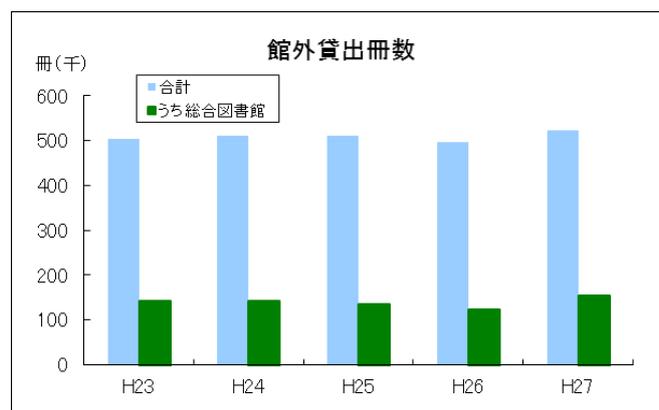
(単位:人)



## 2.5 館外貸出冊数

	合計	うち総合図書館
平成23年度	503,489	142,534
平成24年度	511,905	142,905
平成25年度	511,674	134,771
平成26年度	497,067	122,374
平成27年度	523,756	153,479

(単位:冊)

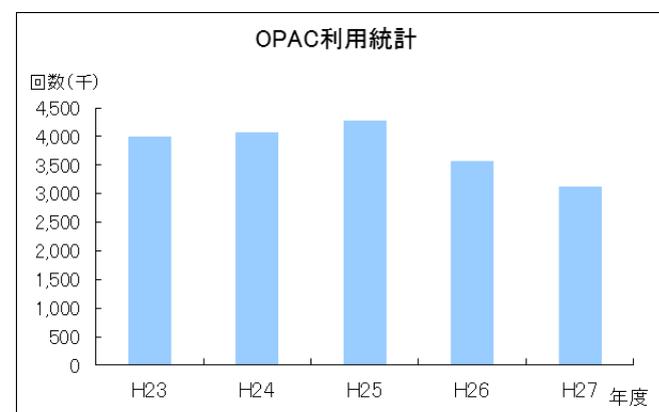


## 2.6 東京大学 OPAC 利用統計

(検索実行回数)

	OPAC
平成23年度	4,003,803
平成24年度	4,075,994
平成25年度	4,282,787
平成26年度	3,579,138
平成27年度	3,120,728

(単位:回)



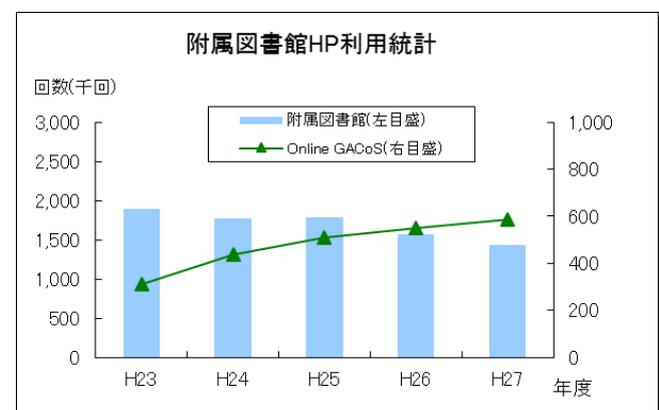
## 2.7 附属図書館ホームページ利用統計

(アクセス回数)

	附属図書館	Online GACoS*
平成23年度	1,888,282	311,156
平成24年度	1,772,462	438,921
平成25年度	1,790,795	508,720
平成26年度	1,572,633	550,968
平成27年度	1,434,215	584,309

(単位:回)

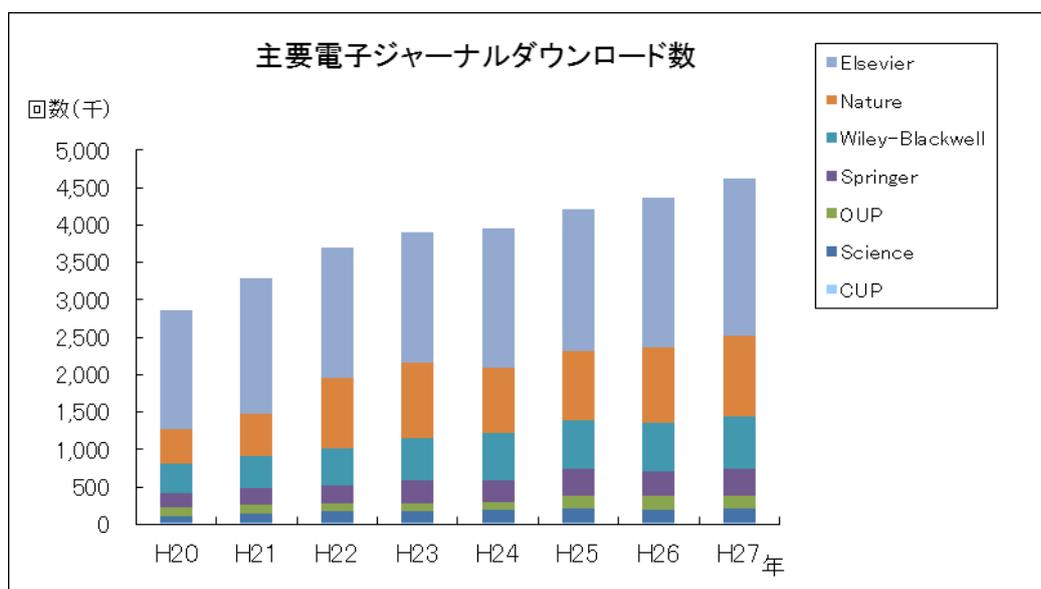
\* GACoS ; Gateway to Academic Contents System



## 2.8 電子ジャーナルダウンロード数

	CUP	Science	OUP	Springer	Wiley-Blackwell	Nature	Elsevier
平成20年	15,423	94,910	118,833	189,441	387,199	459,582	1,593,749
平成21年	18,624	119,183	117,045	229,127	421,090	574,910	1,803,173
平成22年	17,099	156,677	109,335	234,091	504,531	933,414	1,745,480
平成23年	20,333	165,814	102,586	297,638	568,980	1,006,459	1,740,651
平成24年	22,672	169,543	101,256	302,375	627,020	863,822	1,870,426
平成25年	24,081	183,682	172,956	358,471	649,561	933,812	1,896,544
平成26年	27,873	173,046	175,586	334,155	652,581	1,006,529	1,988,641
平成27年	29,978	178,288	171,516	369,083	685,344	1,082,116	2,111,667

(単位:回)



## 東京大学附属図書館

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

電話 03-5841-2612, 2613 (総務課企画渉外係)

Fax 03-5841-2636

<http://www.lib.u-tokyo.ac.jp>